

広島県立五日市高校の放送活動について

2年 三谷明由実 岩元 萌々香 石井 七瀬

1. 五日市高校の年間の活動スケジュール

	五日市高校放送部の活動	コンテスト・講習会
4月	始業式, 入学式, 部活動紹介	
5月		NHK 杯全国高校放送コンテスト地区大会 第1回放送講習会
6月	五高祭(合唱祭・文化祭)	NHK 杯全国高校放送コンテスト県大会
7月	終業式	NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会 第2回放送講習会
8月	6日 ヒロシマを歩く オープンスクール (学校紹介ビデオ制作, ステージ司会)	全国総文 第3回放送講習会
9月	体育祭	特殊詐欺防止 CM コンクール
10月	観音台フェスタ協力	
11月		県総合文化祭 地区大会, 県大会
12月	終業式	第4回放送講習会
1月	放送部弥山登山兼宮島インクル 始業式	中国地区高校放送コンテスト
2月		
3月	卒業式, 終業式	第5回放送講習会

※FM 廿日市協力「ぼくらの放送」…不定期で1時間番組を担当する。

2. 毎日の校内放送について

朝 → 教室入室完了時刻, 朝読書・朝学習の呼びかけ

昼 → **五高トピックス**, 呼び出し放送

夕方 → **五高トピックス**, 下校時間

3. 五高トピックスについて

校内で話題のこと, 先生や生徒の話題, 学校周辺で行われるイベントをお昼の放送で紹介するもの。
～目的～

1. 話題を見つける力を身に着ける

- ①身近なところに目をつける
- ②自分がわくわくするような話題を探す
- ③先生や友達に聞いてみる

2. 取材をする力を身に着ける

- ①事前に質問を決めておく(絶対に聞きたいこと)
- ②一問一答にならないようにする→取材の中で、気になったことを聞いていく

3. 原稿を書く力を身に着ける

①一文を短く

②読みやすいものにする→読み手が読みづらいと思うものは、聞き手も聞きづらいと思うから

4. 本番に慣れる

読む機会が増えることで、大会(課題原稿など)に役に立つ

※5月に放送した内容の一例

間もなく13時25分になります。ここで今日の五高トピックをお送りします。

先日までパンジーが咲いていた校門横の花壇に、今何が育っているか知っていますか？それは夏の花の代名詞「ひまわり」です。実はこの花壇、一昨年までは雑草だらけの荒地でした。そこに手を入れたのは当時の野球部だったんです。きっかけは、ある野球部員が友達を傷つけてしまった償いとして花壇の草取りをしたことでした。そして、更地になった花壇には、夏の高校野球の時期に咲くひまわりの種をまきました。花が咲くまでには、保護者の方から肥料をもらったり、先生方に水やりを手伝ってもらいました。その頃3年生の黒川慧晟さんは、「花が咲くまでには多くの人たちに手伝ってもらいました。僕たちも、周りの人に支えられているからこそ、思いっきり野球ができるんです」と話してくれました。「ひまわりが大きく育てば、きっと自分たちもいい結果を出せる」そんな思いを込めて、今年も野球部はひまわりとともに甲子園を目指します。

今日の担当は放送部2年，三谷明由実でした。

13時25分を過ぎました。健康面を考えて教室の換気をしてください。また教室の移動のあるクラスは早めに行動しましょう。午後の授業は13時35分開始です。それでは午後の授業も頑張りましょう。

4. 2016ひろしま絵文に向けての取り組み

・平和マップの作成と平和ガイドについて

平和公園内にある広島国際会議場が放送部門の会場であることを知り、平和公園がある場所についてしっかりと知ろうと考えた。原爆投下前の中島町に住んでいた、被爆者の方にお話を伺うことにした。話を聞いて、平和公園になっている場所には町があり、人々の営みがあったことを知り、このことを全国の高校生に伝えたいと思った。被爆前の町の資料を調べ、何度も平和公園を巡検し、マップを制作した。そして、マップをもとに全国から集った高校生に向けてガイドをした。

・交流スペースの企画について

総合文化祭の「創造の風 希望の光 平和を願う心」というテーマをもとに、創造スペース・希望スペース・平和スペースを作った。



5. NHK 杯に向けての取り組み

第63回NHK全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門

作品名「ノート、何とかしたいんデス！」(全国大会提出版)

制作意図

テストで良い点が取れない私は、五日市高校で成績優秀と有名な村上春海先輩に取材をしました。板書を書き写すだけでなく、イラストを入れたり先生がしゃべった内容のポイントをまとめたりするなど工夫していました。ノートは何のために書くのか。そこで生徒だけでなく、様々な職業の方にもどんなノートを作っているのか取材しました。ノートを「書く」ことの意味を考えたいと思いこの番組を制作しました。

きっかけ

顧問の先生から、村上先輩のノートがすごいと教えてもらったこと

取材の数

生徒：9人、先生：8人、外部：7人

番組作りを通して

- ・計画性がなかった
 - ・取材の数が多かったため、取材までの準備、取材後のデータ整理が大変だった
 - ・自分たちが何を伝えたいのか、伝えればいいのか分からなくなった
- ノートに取り方に関する本はたくさん出版されていたため
- 多くの取材をさせてもらって、たくさんの意見があって何が正しいのかわからなくなった
- ・自分たちもノートを取ることに對していい印象を持っていなかったが、ただ先生の板書を書き写すのではなく、自分の考えを書くことが大切だと分かった

番組台本

ナレーション①

「はあ・・・またこんな点数とっちゃった。どうしよう・・・」

放送部顧問の写真

ナレーション②

「絶対また怒られるー」

ナレーション③

「やっば、ノートの取り方が問題だよ。お願い！」

ナレーション④

「私の学校で成績No1ノートが素晴らしいっていうのがこの人、村上春海先輩！」

授業内容(日本史) 授業板書(日本史) 村上春海さんのノート

NHKクリエイティブライブラリー 「LOVEケチャップ」

ナレーション⑤

「私は先輩のノートの秘密を探った」

村上先輩インタビュー①

「これいいよね」

村上春海さんのノート

村上先輩インタビュー②

「だから基本的に…書き込んだりとか」

ナレーション⑥

「先輩のノート、じっくり見てください」

村上春海さんのノート

ナレーション⑦

「使った色ペンは3色。」

ナレーション⑧

「ノートの隙間もしっかり取って、すごく丁寧でキレイだ」

村上先輩インタビュー③

「テンションあげるとあとから見て自分でもうんうんって思うしそうするとあとから見てもつわりやすい先生が見てもわかりやすい友達が見てもわかりやすいって感じでいいことだらけだなって感じですよ」

ナレーション⑨

「私だってがんばってるんですけど・・・」

五日市高校放送部員のノート1

NHKクリエイティブライブラリー 「LOVEケチャップ」

ナレーション⑩

「先生はノートどう思ってるんですか」

先生インタビュー① 八木俊雄先生

「みんな丁寧に作っていると思いますね。やっぱり女子が多いっていうのもあるかもしれないけど、やっぱり指示した通りのノートはとっているし、（石井）やっぱりノートを丁寧にとっている人って成績が違いますか。（八木先生）それは難しい問題で、決してきれいなノートとっているからと言って結びついているとは限らない」

先生インタビュー② 福永聖子先生

福永先生「きれいに整理されている子の方が成績いいよってわけでもないんだよね」

ナレーション⑪

「だったら、先輩と私、何が違うんだろう」

生徒インタビュー① 男子生徒2

「（石井）もし、ノートとらなくてもいいよって言われたら、どうしますか。（生徒1）とりません。（生徒2）俺もとりません。（石井）何ですか。（生徒1）めんどく際から。（生徒2）とらなくてもいいかなって思ってしまいます」

ナレーション⑫

「ノートを取りたくない。面倒くさい。そうなのちゃうよね・・・」

ナレーション⑬

「ノートって、なぜとるんだろう？大学の先生に聞いてみた」

外部インタビュー① 広島大学 草原和博先生

「ノートはとらなくてはいけないんですか。逆に質問してしまうんだけど、ノートはとらなくてはいけないの」

放送部員の写真1

ナレーション⑭

「えっ!？」

外部インタビュー② 広島大学 草原和博先生

「世界で、日本の子供たちみたいにノートをとっているところはないです。世界の学校にはノートという概念がありません」

放送部員の写真2

ナレーション⑮

「どういふことなの？」

外部インタビュー③ 広島大学 草原和博先生

「本当に聞くけどなぜノートを取るの？取らなきゃいけないと思ってるの？先生がいうから？」

ナレーション⑯

「アメリカ育ちのパーリンに聞いた」

パーリンインタビュー①

「(石井) ノートって使ってた？(パーリン) ノートは数学の時間だけは、問題を解くノートとして使っていただけかな」

ナレーション⑰

「本当だった」

先生インタビュー③ ケルシー・ラズロ先生

「(石井) 日本のいっぱい黒板に書いてあって、それを移すっていう、ノートをたくさん書くっていう、っていうことにどう思われますか。(ケルシー先生) 黒板だけを書いています。それじゃ学ばせんね。それはコピーですから」

先生インタビュー④ 土手明日香先生

「(石井) 全体的に見てノートってどんな感じですか。(土手先生) 几帳面にとるのはとるでも、私のかいていることをそっくりそのまま」

授業内容 (国語現代文)

授業板書 (国語現代文)

ナレーション⑱

「黒板をきれいに移すだけじゃ勉強じゃないってことなんだ」

ナレーション⑲

「だったら、大人の人はノートどうしているの」

外部インタビュー④ 看護師 熊谷有香さん

「患者さんのことがわかる」

外部インタビュー⑤ 魚屋さん 山崎律子さん

「毎日のことをね、日記のようにね、今日何をしたとか」

魚屋さんのノート

外部インタビュー⑥ 銀行員さん 石井和恵さん

「: ノートには自分のマニュアル・カンペのようなものを」

銀行員さんのノート

ナレーション⑳

「広島でおいしいと評判のラーメン屋さんに行った」「おいしい、グッジョブ」

ナレーション㉑

「店主の石田さんは一生懸命だ」

外部インタビュー⑦ めじろ店主 石田満さん

「ちょっとしたこっちの接客がおかしかったり、したらすぐに帰ってくるんですね。テストの答えが、駄目だったって、今日ちょっとね、愛想がね、悪かった、ラーメンを出すタイミングがわかった。毎日がテストなんで」

ラーメン屋さんのノートのイメージ**ナレーション②②**

「ノートはどうしてるんですか」

外部インタビュー⑧ めじろ店主 石田満さん

「ノートはこのくらいのメモ帳。すぐポケットに入れて、すぐ出してかける。仕事だからね。教えてもらいよる途中に書いていたら、逆に覚えられないから、要点だけ聞いて、さっとメモる」

放送部員の写真3**ナレーション②③**

「大事なところだけさっとメモるのがノートなんだ」

念仏・和讃

渡辺さん「南無阿弥陀仏…」

ナレーション②④

「幸乗寺の住職、渡邊幸司さん」

お坊さんのノート**外部インタビュー⑨ 光乗寺 渡邊幸司さん**

「雑記帳…というかですね」

お坊さんのノート**ナレーション②⑤**

「これは勉強を始めたころのノート」

お坊さんのフェイスブック**外部インタビュー⑩ 光乗寺 渡邊幸司さん**

「今朝のひとり勉強会って始めたんですね。で、その日に勉強したことっていうのをみんなに見てもらって」

お坊さんのフェイスブック**ナレーション②⑥**

「そして今はフェイスブック。ノートの未来形や！！」

外部インタビュー⑪ 光乗寺 渡邊幸司さん

「昔やっていた時も先生に言われることっていうのを言われるままに書いてわからんままにやっていたから。ポイントが分からないんですね。今は関心を持ってねやっているんでね。それで、疑問点を持ってやっているんでね。そっから派生して行って広げていっている。楽しいですね。（石井）こうやって関心を持ってやっているノートって違いますか。（渡邊さん）意味が違いますよね。これはね、わしの宝物ですからね」

放送部員の写真3**ナレーション②⑦**

「自分で感じたこと考えたことを書くのがノートなんだ」

ナレーション⑳

「改めて村上先輩のノートを見た」

村上春海さんのノート

ナレーション㉑

「どのページにも書いてある先輩の言葉。この言葉は先輩の宝物」

村上先輩インタビュー④

村上「思っていたのに全然違うかんがえだったりとか。文章のとり方が全然違っていたりとか。そういう驚きを書くかな。そういう時に私の場合キャラクターを 書くんだよね」

「NHKクリエイティブライブラリー 「LOVEケチャップ」

五日市高校放送部員のノート2

ナレーション㉒

「私は気が付いた。私も自分だけのノートをつくってた。放送部の部活ノート。これぞ私の宝物」

五日市高校放送部員のノート

ナレーション㉓

「授業ノートは、明日から頑張ります」

第63回NHK杯全国高校放送コンテスト広島県大会 講評まとめ

名前 ノート、何とかしたいんです！	部門名 テレビドキュメント
良かった点	改善すべき点
<p>①高校生ならではの身近なテーマだが、深い。ちょっとしたことを深く取材して大変興味深い内容になってます。</p> <p>ナレーターレベル高い。声優さんになれる？</p> <p>高校生のノートから国際文化比較、社会教育まで広いテーマをしっかりと取材している。</p> <p>編集、ロケ、ディテールをしっかりと手を抜かずいい仕事してます。</p> <p>②取材の幅が広い。→考察が深い。</p> <p>高校生の視点で身近な問題を見つめ、そこで自らが学ぶ姿をドキュメントしている。面白かったです。</p> <p>③身近な大問題！！good</p> <p>ALT、来日した生徒へのインタ面白かった。</p> <p>最後のオチも good</p> <p>⑤ノートの取り方、身近なテーマでいいですね。最後まで面白く見させていただきました。</p> <p>インタビューの音声よく録れていて、聞きやすいです。ナレーションもいいです。</p> <p>いろいろな人にインタビューしているのがいいです。</p> <p>看護師や魚屋、銀行員、ラーメン屋さんまでインタ</p>	<p>①ノートって何なのって内容つかみを少し考えた方がいいかもしれない。</p> <p>②自分の考えを書くのがノート…最後のまとめ…最初のテーマから少し外れたように思います。</p> <p>③なぜ日本の教育はノートを取らせたのでしょうか。(提出を求めたり)そこに迫るのも面白いかも。</p> <p>④ノートって何なのって内容つかみを少し考えた方がいいかもしれない。</p> <p>⑤自分の考えを書くのがノート…最後のまとめ…最初のテーマから少し外れたように思います。</p>

<p>ビューしていてすごいですね。お寺もあった。 取材力はすごいですね。 ⑥「ノートの取り方」という高校の多くの生徒のもつ関心事に答えていました。 “なぜノートをとるのか”という逆に質問させるという切り込み方はその後の展開を見たいと思わせてくれました。 構成の仕方は論理的に筋が通っていてよくわかりました。 外国人のノートの取り方という視点はよかったです。 ⑦高校生の視点ということであるが学習科学上、大変興味深い内容。 高校生なら誰もがもっている悩み、疑問点が描かれており、秀逸。 続編が見てみたい。</p>	
--	--

第63回 NHK杯全国高校放送コンテスト準々決勝 講評まとめ

<p>名前 ノート、何とかしたいんデス！</p>	<p>部門名 テレビドキュメント</p>
<p>良かった点</p>	<p>改善すべき点</p>
<p>① 誰もが知りたい身近な話題をみんなの常識をうまくくずしながら検証していて、最後まで引き込まれました。</p> <p>② 高校生らしい身近なテーマでテンポよく展開している。インタビューが多方面から工夫されている。取材の取り組みが見えて面白かった。</p> <p>③ 授業でノートを書くことの特殊性には教員として初めて知りました。人にとってそれぞれのノートのあり方、使い方があり、しかしやはり「自分」という存在があって主体的に向き合うことが重要なことと思知らされました。</p> <p>④ テーマ、構成、ナレーションが面白い。学校だけじゃなく、いろんな職業の人のノートに目を向けて取材したのも良い。興味深いです。</p> <p>⑤ いろいろな職業のノート面白い！構成も非常に良く、丁寧に作られています。</p>	

第63回NHK杯全国高校放送コンテストラジオドキュメント部門準優勝作品

「ピアノが伝えてくれること」ができるまで

<制作意図>

去年の秋、私はあるピアノと出会った。ピアノは71年前の夏、持ち主だった少女を原爆によって失った。傷を負ったピアノは、それからしばらくの間、音を奏することはなかった。しかし、ピアノは今美しい音色を響かせている。ピアノはどうやって音色を取り戻したのか、このピアノがこれからの継承にどんな役割を果たしていくのかを伝えたいと思い、この番組を制作した。

<制作日程> ※木村智子記載 荷宮加筆

2015.10 中旬

2016 ひろしま総文プレ開会式で木村が平和を伝えるパートのナレーションを担当することが決まる。台本を渡されて中身に被爆ピアノが出てくることを初めて知る。

2015.11.15

2016 ひろしま総文プレ開会式。木村がナレーター、柳が詩の朗読を行う。被爆ピアノの実物を初めて目にする。演奏する賀茂高校の山本彩菜さんとも出会う。

明子さんやピアノについて何も調べていないまま本番に挑む。この時は、ピアノの音色を聴いただけで、近くで見たり、触ったりはしなかった。

2016. 2 初旬

2016 ひろしま総文開会式もプレ大会と同じ内容で行うことが決まる。予備取材、資料集め開始。

きちんと明子さんやピアノについて知った上でナレーターをしたいと考え取材を始めた。

2016. 3～

NHK 杯に向けての本格的な取材を開始する。

ピアノを管理している二口とみえさんに取材する。

音が再び奏でられるようになるまでのピアノの様子や、明子さんについてくわしく知ることができた。

2016. 4～

ピアノを修復・調律した被爆2世の調律師の坂井原浩さんに取材する。

坂井原さんに、「ピアノを修復しながら被爆した叔父のことを考えた」という話を聞き、ピアノは関わった人たちにあの日のことを考えるきっかけを与えているのだと思った。

平和祈念資料館に明子さんと明子さんの父・源吉さんの日記を読みに行く。

日記には、ピアノを弾いた楽しい思い出や家族との日常が綴られていて、明子さんに親近感を覚えた。源吉さんは子煩悩なお父さん、明子さんは今の私たちと変わらない普通の女の子だったということが分かった。

明子さんの義理の妹、山本紀美子さんを探す。手紙を2人でそれぞれ書いて取材のお願いをする。

明子さんの義理の妹、山本紀美子さんに電話で取材する。

明子さんが亡くなってから家族が過ごしてきた、60年という時間の重さが分かった。

2016. 5

ピアノを修復・調律した被爆2世の調律師の坂井原浩さんに再取材する。レコーディング依頼。被爆2世としてピアノへの想いを取材。

2世だからと言って特別に何か考えていたことは、被爆ピアノに出会うまではなかった。このピアノを通して母や2世であることに向き合えた。

賀茂高校の山本彩菜さんに取材する。

彩菜さんも実は3世で、被爆ピアノに接して、祖父の体験と向き合った。改めてピアノは関わった人たちにあの日のことを考えるきっかけを与えているのだと思った。被爆ピアノの音は何か特別なのか？音自体は古いピアノ。でも70年という時間の流れを伝えてくれる。ピアノは、「70年前にピアノを弾いていた人は私たちと同じように普通に生活していた人で、そんな人たちの夢や喜びを原爆が奪った」ということを語りかけているのではないか、ピアノが伝えてくれている71年前の記憶を伝えることが大切と考える。

2016. 6. 4～5

被爆ピアノによるレコーディング。取材でわかっていた明子さんが好きだった曲を中心に収録する。

合宿で構成・編集をする。

2016. 6. 12

NHK 杯広島県大会

最優秀賞だったけど1点差だった。何かが足りない。ピアノの音に説得力を持たせて自分たちが実感できるようにするにはどうする？講評の分析、校内での放送などを通して山本彩菜さんに再取材をして再構成を考える。

2016. 6. 22

山本彩菜さんに再取材をする。

「ピアノは被爆した資料として残っているものではない。今も生きていて語りかけてくれている。」という彩菜さんの言葉を聞き、その言葉こそがピアノが今も背負っている役割、そして音色に耳を澄まし考えていくことが継承に繋がると改めて強く思う。

2016. 6. 25-28

再構成・編集・台本制作をする。

2016. 6. 28

作品提出

2016. 7. 25-28

NHK 杯全国大会

2016. 7. 30

2016 ひろしま総文総合開会式

2016. 8. 6

被爆ピアノコンサート参加。ピアノとコラボレーションして朗読を行う。

<事前資料の作成について>

河本明子さんと被ばくピアノについて (2016年2月～3月初旬作成資料) ※木村, 柳作成

○河本明子さん

1926年5月25日	アメリカ・ロサンゼルス日本病院にて誕生。
1929年3月10日	弟・信彦さん(長男)誕生。
1932年7月9日	明子さん6歳でピアノを習い始める。
1932年12月26日	アメリカから日本へ帰国。
1934年4月23日	弟・正隆さん(次男)誕生。
1943年4月	広島女学院専門学校家事科入学。
1945年8月6日	三年生の時、広島市内(幟町付近)で被爆。
1945年8月7日19時半頃	明さんが亡くなる。

- ・女学院からは約826人が学徒動員されており、そのうちの約281人が亡くなった。
- ・明子さんの人柄…勉強が好きで、学徒動員で勉強ができないことを嘆いていた。学力は学年で一番だった。

おとなしく内気だったが、その反面、秘めたる負けん気があった。

○家族構成

父・源吉さん, 母・シヅ子さん, 長女・明子さん,
 長男・正隆さん(横浜在住) 妻・山本紀美子さん 孫・黎さん信彦さん
 次男・信彦さん(既に亡くなっている)

- ・三滝にある家は1000坪あった。

○明子さんの交友関係

亀井宏子さん…既に亡くなっている。明子さんとはアメリカに住んでいたときからの知り合いだった。

明子さんの家に疎開していて、明子さんを看取った。後に二口さんに明子さんの被爆体験を話した。

○明子さんの被爆体験

8月6日の朝、明子さんは体調が悪かった。父・源吉さんは明子さんが建物疎開に行くことに反対していた。しかし、明子さんは、友達と会う約束をしていたため出かけて行った。現代の合同庁舎あたりで建物疎開の作業中に被ばく。爆風で車の下に吹き飛ばされたが、怪我はなかった。そこから三滝にある家に歩いて帰る。明子さんは家のある丘の麓まで歩いて帰ったが、そこで力尽きた。倒れているのを発見した近所の人が、家まで運んだ。けがややけどは無かったが急性放射能障害となり、翌日の5時頃息をひきとった。最後の言葉は「赤いとまが食べたい」だった。

○被爆ピアノについて

およそ100年前にアメリカのボルドウィン社で作られた。1945年、およそ3キロ離れた自宅(三滝町)にあったピアノは原爆による爆風で硝子の破片を無数に受けた。それからピアノは60年間ふたが閉じられていたままだった。2004年に河本さんの自宅を取り壊す際、シヅ子さんと親しかった二口(旧姓:須藤)とみえさんが譲り受け、調律師の坂井原浩さんが修復した。二口とみえさんは被爆ピアノを通して平和教育活動を行う「HOPEプロジェクト」を設立した。

ピアノを所有しているのはHOPEプロジェクト。<http://www.acras.jp/?p=3315> } より

○被爆ピアノの活動

・被爆60年にあたる2005年8月3日に行われた被爆ピアノ・チャリティーコンサートで、シヅ子さんのひ孫・山本黎さんが遺族の一員ということで被爆ピアノの演奏をした。(http://www.acras.jp/?p=3315より)

現在は平和公園内や保育園などで演奏会を行っている。

○話を聞きたい人

山本正隆さん…明子さんの弟さん。晩年の明子さんや、シヅ子さん、源吉さんのことを知っている人。

山本黎さん…正隆さんのお孫さん。2005年8月3日に行われた被爆ピアノ・チャリティーコンサートで演奏した。

坂井原浩さん…明子さんの被爆ピアノの修復作業をした人。可部でピアノの調律師として働いている。

土屋時子さん…現在68歳。女学院高校卒。広島女学院大学勤務。ヒロシマ講座の講師。広島ちんどんクラブの座長。広島文学資料保全の会の代表。定年まで女学院大学牛田キャンパスの図書館勤務していた。

<取材の質問事項の作成と取材後のまとめについて>

A)坂井原浩さん 質問事項 (2016年3月30日作成資料)

●調律師の仕事について

- ・調律はどうやってするのか。→見せてもらうことはできるか。
- ・調律師の仕事とは具体的にどんなことをするのか。

●ピアノを譲り受けた経緯

- ・何がきっかけで、明子さんのピアノについて知ったのか。
- ・どうして明子さんの被ばくピアノを調律しようと思ったのか。
- ・初めて、ピアノを見た時どんなことを思ったか。
- ・シヅ子さんと会ったことはあるのか。→その時、何か言われたことはあるのか。それを聞いてどう思ったか。

●ピアノを修復するにあたって

- ・譲り受けた当時のピアノはどんな状態だったのか。
- ・ピアノを修復しているときにどんなことに気付いたか。→それを見てどう思ったか。→出ない音などあったのか。
- ・ピアノから、弾いていた人(明子さん・シヅ子さん)のどんな人柄が分かったか。

●二口さんとの関係

- ・二口さんと出会ったのはいつのことか。→どんな印象を受けたか。
- ・二口さんがされている活動についてどう思っているのか。

●現在

- ・現在のピアノはどんな状態なのか。
- ・明子さんの被ばくピアノと他のピアノはどんなところが違うのか。
- ・弾いてくれる人にどんなことを考えて弾いてもらいたいのか。

●被爆二世

- ・自身が被ばく二世だから、明子さんの被ばくピアノを引き取ろうと思ったのか。
- ・坂井原さんの、両親はどういった体験をされているのか。

B)坂井原浩さん 20160403 取材まとめ (2016年4月中旬作成)

※灰色部分は今回の取材では足りない、追加が必要と考えた部分です。

氏名…坂井原浩さん 生年月日…1964年2月(現在:52歳) 出身…広島市安佐南区

経歴…高校卒業後、浜松市のピアノメーカーの調律技術者養成所に入り主席で卒業。広島市内の楽器店で13年間勤務。

1988年に「坂井原ピアノ調律事務所」を開設した。日本ピアノ調律師協会会員。

備考…被爆二世。

●ピアノについて

・ピアノは何年製のものなのか。 ・いつ河本さんが買ったのか。 ・当時、ピアノの価値はどれほどのものだったのか。

●明子さんのピアノとの出会い

- ・明子さんのピアノを譲り受けた経緯

2002年に知人から、ピアノのある家に取り壊されるという話を聞き、そのピアノを見に行くことにした。ピアノを見せもらうと、1926年のポルドウィン社製のピアノで大変貴重なものだと感じた。明子さんの弟(正隆さん)さんから、家

と一緒にこのピアノも処分すると聞く。引き取り手はいないかと聞くと、誰もいなかったため取りあえず自分が預かっておくことにした。3か月たっても、明子さんのピアノを引き取るという人は現れなかった。それから1年近く、そのままの状態でも保存していた。どうしようかと思っていたとき、二口さんから「被爆60年の時に明子さんのピアノでコンサートを開きたい」という連絡があった。2005年に被ばくピアノを修復した。

→どうしてピアノを引き取ろうと思ったのか。 →どうしてピアノを直そうと思ったのか。

●ピアノの修復作業

- ・修復にかかった時間

修復には1か月かかった。

→修理を始めてから全部でどのくらいの時間がかかったのか。 →修復費や、維持費はどのくらいかかるのか。

→どうしてそこまでして残そうとしたのか。

- ・引き取った当時のピアノの状態と修復作業の内容

原爆による傷というよりは、時間による老化(虫食いや朽ちた部品があった)が激しかった。弦は何本か切れて弾ける状態ではなかった。ピアノの後ろの支柱にガラスの破片や楽譜の破片が入っていた。切れていたものは張り替えた。落ち込んでいる鍵盤(中心らへんのレ・ソ・ラ・シ)もあった。同じ年代に作られた鍵盤を代わりに使った。鍵盤枕も張り替えた。弦はゆるんでいたため、今のピッチまで引き上げた。錆びついているところは加熱しながら錆をとったり、一度分解してから使える部品と使えない部品を分けたりした。いつ弦が切れるかわからない状態。

- ・ピアノを修理する中で分かったこと

かなり弾き込んだ跡があり、1日に数時間練習した日もあったのではないと思う。弦を叩いた跡がびっしりついていてから。黒鍵もすり減っていたり、色があせていたりしていた。

→直す中で学んだことがあるとおっしゃっていたが、それはどんなことか。

- ・修復しながらどんなことを考えたのか

自分の母の被爆体験を小さい頃から聞いていて、明子さんの体験と重なることがあった。母の体験を思い出しながら修復作業をした。

→具体的にはお母さんのどんな体験と重なるところがあったのか。

- ・修復するときに気を付けたこと

そのままの形で残さないと意味がないと思ったから、取り替えるところは最小限にとどめた。極力新しいものに変えないようにした。

→そのままの形で残す意味とはどんなものなのか。

- ・ピアノの音色の再現について

老朽化が進んでいて、当時とそのままの音は再現することはできない。でも、明子さんが弾いていた頃と同じように音を出すことができるまでにはなった。新しいピアノは伸びの良く豊かな音がでるが、明子さんのピアノは古いため、伸びはあまりない。ただ、あたたかみがあり深みのある音が出せる。明子さんの想いも入っているからなのかなと思う。

→あたたかく、深い音色とはどんなものなのか。

→明子さんが小さいときから弾かれていたと、聞いたが、ずっと弾かれたピアノはそういう音になるのか。

- ・現在のピアノの状態・メンテナンスについて

接着は膠(にかわ)でされているため、老化にしたがって弱くなってきている。移動をすることが多いため、足が弱くなってきている。接着が弱くなったときにたまたま、接着しなおす。

●河本一家について

- ・明子さんが弾いていた曲にはどんなものがあったのか

モーツァルトやショパンの曲だったと思う。 →具体的な曲名は何なのか。

- ・シヅ子さんと会ったことはあるのか

直接会ったことはない。正隆さんに明子さんの遺品だということ聞いた。

- ・ピアノは60年間開かれなかったのか

正隆さんの話では、戦後に知人にピアノを貸してほしいといわれたことがあり、貸したことがあるらしい。調律は河本さんの親せきの人が一回やったきりだったそう。明子さんのお父さんもお母さんも、娘を亡くしたことでピアノを弾いて楽しむということができなかったのではないかと思う。

- 明子さんについて

→坂井原さんから見て、明子さんはどんな人だったと思うか。→どうしてそう思うのか

- ピアノが繋いでいくもの

- ・このピアノを通してどんなことを知ってもらいたいのか。

音を奏でるものとして、残ったピアノだから、このピアノには使命があると思う。明子さんは、勉強をしたりピアノを弾いたりしたいと思っていたのに、それができなくなったのはどうしてなのかということ、このピアノの音を聞いた人や弾いた人に考えてもらいたい。

- ・どんな風にピアノを弾いて何を考えてもらいたいのか

子供たちに弾いてもらったり音を聞いたりしてもらって、今自分が好きなことができるというのは、平和な時代だからこそなんだと考えてほしい。

- 坂井原さんの両親の被爆体験

- ・お父さん…キノコ雲を見た。

・お母さん…爆心地から4キロほどの庚午で被爆。お寺で勉強していたときに、B29を見て土管にかくれた。その時に原爆が投下される。急いで家に帰ると、ガラスが割れ、柱も傾いていた。お母さんは、2、3年間体調を崩し学校に行けなかった。→名前は何というのか。当時何歳の時だったのか。→どんな体験をされたのか。

→坂井原さんに自身の被爆体験についてどんなことを話したか。

・お母さんのお兄さん（坂井原さんから見て伯父さん）は、土橋あたりで被爆し川を泳いで帰ってきた。顔はパンパンになり、全身やけどだった。「水がほしい、水がほしい」と言っていた。翌日に亡くなった。川土手で遺体を焼いた。

・お母さんの弟さん（坂井原さんから見て叔父さん）は3歳のときに被爆し黒い雨を浴びたために、20歳になる前に亡くなった。

- 二口さんの活動について

話す相手に合わせて、口調を変えて分かりやすく話されていてすごいと思う。明子さんの想いを伝えるために動かれているなどと思う。

- 調律の仕事について

音程を合わせる、音色を整える、タッチを整えるが大きな仕事内容。古いピアノは弦がゆるみやすいため、調律に時間がかかる。

- その他

- ・山本正隆さんについて

3月25日に肺線維症の悪化により亡くなられた。

- ・ピアノを弾いた人の声

あたたかい音だねとみんな言う。

- ・日記について→明子さんの日記を読んだことはあるのか。

- 継承について

- ・ピアノが今後果たしていく役割についてどう思うか。

・最近「広島＝平和」と継承が形ばかりになっていると感じます。実際に私たちもそういった気持ちで、明子さんについて紹介してしまいました。そのことについてどう考えているのか。

・海田東小学校の生徒が被爆ピアノの音色を聴いて「ピアノさん熱かったですよ。でもね、今こうやってきれいな音を聞かせてくれてありがとう」という感想文を書いていました。形だけの継承と言われれる中で、音色を聴いてこう考える子供もいるということをどう思うか。ピアノはどんな力を持っていると思うか。

●今後について

・誰かをつれてきてピアノを弾いてもらうことはできるか。それをラジオドキュメントで使わせていただくことはできるか。

<ピアノが伝えてくれること～県大会台本～>

① 明子さんのピアノと出会う

ナレーション1：(BGM：ショパン／ノクターン第20番「遺作」ハバト音『このピアノの持ち主～』)

この音色を奏でているのは、71年前持ち主を失ったピアノ。私は、あるイベントでこのピアノと共演した。これからあなたにピアノが伝えてくれたことを語りたいと思う。

②明子さんについて

ナレーション2：

ピアノは90年前、アメリカで作られた。そしてピアノと同じ年に生まれたのが、持ち主の河本明子さん。彼女は6歳の時、ピアノとともに広島に帰ってきた。

明子さんの日記：(BGM：モーツァルト／ピアノソナタ ハ長調 子犬のワルツ FD)

「きょう、学校から帰るときに、ピアノの本をもらいました。帰ってから、おかあさんがピアノの本の袋を作ってくださいました。」

ナレーション3：(BGM：モーツァルト／ピアノソナタ ハ長調 FO)

ピアノが大好きだった明子さんは、父と母に見守られ成長していった。

ナレーション4：

しかし1945年8月6日、原子爆弾が投下された。学徒動員の作業中に被爆した明子さんは、翌日自宅で息を引き取った。

「お母さん、トマトが食べたい」。それが最後の言葉だった。

ナレーション5：

明子さんの義理の妹である紀美子さんは、一度だけ父からそのことを聞いている。

山本紀美子さんインタビュー：父の後悔 20160521/1752～

(途中から BGM：ショパン／ノクターン第20番「遺作」FD)

ときどき涙ぐみながら話してくれました。で、あ、トマト食べたんですか。ってトマトですかって言ったら、トマトしか食べさせるものがなかったって泣いていました。もっといいものがあればもっと食べさせてやりたかったけども、他に家にもそんなに食べるものなかったって無い、ということだと思います。

ナレーション6：(BGM：ショパン／ノクターン第20番「遺作」)

そして母は8月6日の朝のことを

山本紀美子さんインタビュー：母の後悔 20160521/1951～

「明子はね、いつも元気な機嫌のいい声でいってまいります！って行くんだけどね、その日はね元気の無い声で上がり間口に座り込んで、体がだるくて行きたくないねえって言っていたのよ。普段と違う元気がない声で行きたくないって言ったのよ」って言ってました。2102 だけど、母も昔はやっぱり、学校の先生は何て言ったって、あの力強いですから、先生からせつかく手紙もらったんだから行きなさいって行って、お弁当持たせて行った、行かせたって、そしたら、あの、かってな上がり間口に座り込んでたけど、「じゃあ、行って来ます」って出かけていったって。2128 母はあの時に行きたくないなら休みなさいって言えば良かったのに、私がつい、行きなさいって、あの、背中を押したからこんなことになったって、母の一番の悔やんだ言葉でした。

ナレーション7：(BGM：ショパン／ノクターン第20番「遺作」FO)

持ち主を失ったピアノは、音を奏でることをやめた。(SE：蟬の音) 長い時間が流れた。

② ピアノが再び美しい音色を響かせるようになるまで

ナレーション8：(途中からSE：坂井原浩さんが調律している音)

そしてピアノは10年前、ある調律師と出会う。被爆二世の調律師、坂井原浩さん。

坂井原浩さんインタビュー：20160504/0409～

洋間にぼつんとそのピアノがあったんですけどね、えーで、実はこれはねーって姉と母が使っていたピアノなんだけど姉はね原爆で亡くなってね、まあこの家もその時には天井とか壁とか、結構爆風でやられて、えーガラスも爆風で吹き飛んだんですけど、その爆風がピアノにも突き刺さったりして、まあそんなピアノなんですよ、姉が原爆で翌日亡くなってで、まあそのそれからあまり使われなくなっただけですとおっしゃったので、いやこれは単なるアメリカから持って帰られた古い単なるピアノではないと感じてですね、いやこれはもうぜひご家族の方かご親族かがどなたかがこれは保管するのが一番いいと思いますと、でそのときに聞いてたのが、もうその見に行かせていただいた時が12月もう終わりに近いころ、クリスマス前後くらいかなあと一か月でこの家崩しますとおっしゃられたので、

ナレーション9：

坂井原浩さんは、ピアノを修復しながら、母から聞いた叔父のことを思い出したという。

坂井原浩さんインタビュー：20160504/1615～

明子さんと同じで学徒動員に出ていくつか川を泳いで帰ってきたと、ただもう顔も焼きただれてパンパンに腫れた状態で、だから目も瞼ももう腫れてて、水がほしい水がほしいって言っていたけれども、でももちろんお医者さんももう近所にはもう……。いらっしやったとは思うんですけども、ほんとに手一杯ですよ。どんどんあの、広島の方から焼けただれた被爆された方避難してどんどん廿日市の方向に避難されていたというのを記憶してるらしいので、まあそういう中、最終的にはお兄さんは家にたどり着けずに近所の人に見つかりアキモトさんのところの子だっというので、扉を担架がわりにされたので帰ってきたと、で、水がほしいといいながらも、家の中もぐちゃぐちゃなので、庭に一日中、私のおじいちゃんおばあちゃんが看病していたらしいんですよ。寝ずにですね。だけでも翌日亡くなってしまったと、で、その話が明子さんとほんとに重なるので、あのそのピアノをまあ、明子さんの無念さもあつたと思いますし、まさ

その私から言うともちろんあったことはないんですけど、写真、遺品となるものは写真一枚だけなんです。他の物は残ってない、写真でしか見たことがない叔父なんですけれどもそこらへんはやっぱり、あの、なんていうんでしょうか、同じようななくなり方をしたのですごくこのピアノを直すにあたって、まあ感じることもありますし、残していかなければいけないという気持ちにはなりました。

ナレーション 10 :

明子さんのピアノは、被爆ピアノとして再び音を奏で始めた。

(BGM : ショパン/エチュード第3番「別れの曲」イベント音『これは爆心地から2、8キロの〜』FI)

③ 私と同じようにピアノと出会った人たち

ナレーション 11 : (BGM : ショパン/エチュード第3番「別れの曲」FO)

ピアノは何を伝えてくれているのだろうか。明子さんのピアノを演奏した高校生の山本彩菜さんは

山本彩菜さんインタビュー : 20160520/雑談①0055~

んー、まあ私が思ったのはまあ、すごい直接的だけど、まあ、年月は確実に伝えているかなと思って、音ってあの、絶対こう年を経るごとにどんどん変化していくものだから、その、まあ被爆がまあ70年前っていう、その、ま、それよりもっと前からあったピアノだけど、そのまあ、どれだけの年月がたったかっていうことは、す、あの、音が伝えているんじゃないかなと思ってます。

ナレーション 12 :

70年という時間の重さ。そしてもうひとつピアノが伝えてくれていることがある。

⑤未来 ピアノが伝えてくれること これからの継承のかたち

ナレーション 13 :

坂井原さんと一緒にピアノの管理をしている二口とみゑさんは、ある小学校での出来事をこう話す。

二口とみゑさんインタビュー : 20160321/書き出し①4509~

1年生の感想文の中にね、「ピアノさん、熱かったでしょう。でもね、今こうして、きれいな音を聞かしてくれてありがとね」って書いてあったの。1年生のお子さんでもほんとに分かって下さる。ねえ、子供達でもやっぱり、伝わるんだなあっていう。

(途中から BGM : ショパン/ノクターン第2番変ホ長調 FI)

ナレーション 14 :

ピアノは、あの日の記憶も伝えてくれているのだ。

坂井原浩さんインタビュー : 20160504/3050~

(BGM : ショパン/ノクターン第2番変ホ長調 被せ)

そうですね、形あるものはいつかなくなるというか、まあこの明子さんのピアノは消滅するわけではないんですけども。ただ弾ける状態ってのはいつまで続くかわかりません。まあいつかは大きく直してあげなくちゃいけない時もあるかもしれないんですが、えー。ただ明子さんとお母さんが弾かれてた、んー、そのピアノを、それを伝えていく、その

当時の音を伝えていくことが、やっぱりその当時起こったことを伝えていくことにも繋がるんだらうなあと思うので、できるだけ、まあ、温存したいというか、この状態を保ってあげたいな、と。

ナレーション 15 : (BGM : ショパン / ノクターン 第 2 番 変ホ長調 FO)

あなたもピアノの声に耳を傾けてほしい。

クレジットコール :

「ピアノが伝えてくれること」制作は、五日市高校放送部でした。

ラジオ尺 : 6分 48秒

第 63 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト広島県大会 講評まとめ

名前	ピアノが伝えてくれること	部門名	ラジオドキュメント
	良かった点		改善すべき点
A :	子供たちの感想が良かった。 取材がよくできている。 調律の音が印象的に用いられている。 ピアノの曲の使い方も GOOD。	A :	
B :	最もネタがすばらしい。 音とナレーション、BG、SE の使い方などレベルが高いです。	B :	
C :		C :	ナレーションとバックの音のバランス。 ピアノの音をもっとクリアにとれないか。 ピアノの音自体がこもっているのかも知れないが。 ピアノの音を使いすぎじゃないか。
D :	私はこの音を聞いて、このピアノを弾いていた人を、このピアノの音を聞いていた人を感じます。	D :	「70年の時間を音が伝えている」→分からない。 ① どう音がかわっているからその時間が伝わるのか。 ② 調律師としてわかる音の変化はあるのか。 ③ 観念的すぎるのでは？ 言葉とピアノの音と音声がかぶっているところが、会場の音とナレの音との区別がつかない。
E :	BGM とのバランスなどちょうどいい。	E :	初めの部分のナレーションの重なりは演出？ 録音レベルの調整。
F :	被ばくピアノからそこに関わった人を掘り下げて、歴史を紐解いていけるテーマ設定がよい。 ピアノの音色を題材にするところはラジオの特性を生かしている。	F :	最初のはじまりはピアノとナレーションと演奏の解説の音が被って聴きにくい。

ピアノの音に頼りすぎない、ピアノの音に説得力を持たせる、ピアノの調べはピアノの声。
ドキュメンタリーとしての完成度を求める。

<ピアノが伝えてくれること～全国大会台本～>

①明子さんのピアノと出会う

ナレーション1:(BGM:ショパン/ノクターン第20番「遺作」ハバント音『このピアノの持ち主～』)

この音色を奏でているのは、71年前持ち主を失ったピアノ。私は、あるイベントでこのピアノと共演した。これからあなたにピアノが伝えてくれたことを語りたいと思う。

②明子さんについて

ナレーション2:

ピアノは90年前、アメリカで作られた。そしてピアノと同じ年に生まれたのが、持ち主の河本明子さん。彼女は6歳の時、ピアノとともに広島に帰ってきた。

明子さんの日記:(BGM:モーツァルト/ピアノソナタ ハ長調 子犬のワルツ FD)

「きょう、学校から帰るときに、ピアノの本をもらいました。帰ってから、おかあさんがピアノの本の袋を作ってくださいました。」

ナレーション3:(BGM:モーツァルト/ピアノソナタ ハ長調 FO)

ピアノが大好きだった明子さんは、父と母に見守られ成長していった。

ナレーション4:

しかし1945年8月6日、原子爆弾が投下された。学徒動員の作業中に被爆した明子さんは、翌日自宅で息を引き取った。

「お母さん、トマトが食べたい」。それが最後の言葉だった。

ナレーション5:

明子さんの義理の妹である紀美子さんは、一度だけ父からそのことを聞いている。

山本紀美子さんインタビュー:父の後悔 20160521/1752～

(途中から BGM:ショパン/ノクターン第20番「遺作」FD)

ときどき涙ぐみながら話してくれました。で、あ、トマト食べたんですか。トマトですかって言ったら、トマトしか食べさせるものがなかったって言って泣いてました。

ナレーション6:(BGM:ショパン/ノクターン第20番「遺作」)

そして母は8月6日の朝のことを

山本紀美子さんインタビュー:母の後悔 20160521/1951～

「明子はね、いつも元気な声でいってまいります！って行くんだけどね、その日は元気の無い声で体がだるくて行きたくないねって言ったのよ。母はあの時に行きたくないなら休みなさいって言えば良かったのに、私が行きなさいって、あの、背中を押したからこんなことになったって、母の一番の悔やんだ言葉でした。」

ナレーション7:(BGM:ショパン/ノクターン第20番「遺作」FO)

持ち主を失ったピアノは、音を奏でることをやめた。(SE:蟬の音)長い時間が流れた。

③ ピアノが再び美しい音色を響かせるようになるまで

ナレーション9：(途中からSE：坂井原浩さんが調律している音)

そしてピアノは10年前、ある調律師と出会う。被爆二世の調律師、坂井原浩さん。

坂井原浩さんインタビュー：20160504/0409～

洋間にぽつんとそのピアノがあったんですけどね、実はこれはねーって姉と母が使っていたピアノなんだけど姉はね原爆で亡くなってね、ガラスもピアノにも突き刺さったりして、まあそんなピアノなんですよと、いやこれは単なるアメリカから持って帰られた古い単なるピアノではないとそのとき

ナレーション10：

坂井原さんは、ピアノを修復しながら、母から聞いた叔父のことを思い出したという。

坂井原浩さんインタビュー：20160504/1615～

学徒動員に出て顔も焼きただれてパンパンに腫れてる状態で、水がほしい水がほしいって言っていたけれども、私のおじいちゃんおばあちゃんが看病していたらしいんですよ。寝ずにですね。だけでも翌日亡くなってしまったと。で、その話が明子さんとほんとに重なるので、

ナレーション11：

(BGM：ショパン/エチュード第3番「別れの曲」FD)

明子さんのピアノは、被爆ピアノとして再び音を奏で始めた。

=====

Q1)山本彩菜さんのインタビューをどう抽出しますか？

Q2)ナレーション12と14は、改定途中の文です。さて最終的にどのようなナレーションにしたのでしょうか？

④ 現在 私と同じようにピアノと出会った人たち

ナレーション12：(BGM：ショパン/エチュード第3番「別れの曲」FO)

ピアノは何を伝えてくれているのだろうか。私と一緒にイベントに参加し、明子さんのピアノを演奏した高校生の山本彩菜さんは

山本彩菜さんインタビュー：160622_2回目 2441/3552

原爆が投下されたっていうのは、歴史上のこととか、ま、えーと、ま70年前に生きていた人が体感したことっていう風にすごく遠、遠いものっていう風にとらえていたんだけど、／

明子さんも自分と同じようにこのピアノの前に座ってこの距離感でピアノと接してたんだなと思うと、あと明子さんのこととか、会ってもいないし、資料とか知っただけだけど、やっぱり身近に思えてくるというか親しみを感じますね。

ナレーション13：

彩菜さんは、ピアノを弾いて、あることに気付いたという。

山本彩菜さんインタビュー：160622_2回目 3208/3527

あ、資料ではないんだって思って、ただの資料ではなくて、生きている楽器が今も伝わって残っているんだっていう、

そこを実感したことで、その、70年っていう年月は確かに長いけどその、自分が思っていたよりも、そう、歴史とか、そういう昔の史実というよりはほんとに、あの、ほんとに実際に起きたこと、でその自分には実感はないけど／あの70年前に被ばくしたピアノがここに残っていて、それが今でもこう、ま、いろんな人にそれを伝えようと残っている、っていうことをすごく感じました。で、やっぱりそれがその被爆ピアノが今も残っているというか、いろいろな人の手によって生かされている意味だとか思うし、私はそこが、あの、それが一番被爆ピアノ自身が伝えてくれることなのかなと思っています。

ナレーション 14 :

ピアノは生きている。私たちに語りかけている。

⑤ 未来 ピアノが伝えてくれること これからの継承のかたち

ナレーション 15 :

坂井原さんと一緒にピアノの管理をしている二口とみゑさんは、ある小学校での出来事をこう話す。

二口とみゑさんインタビュー：20160321／書き出し①4509～

(途中から BGM：ショパン／ノクターン第2番変ホ長調 FI)

1年生の感想文の中にね、「ピアノさん、熱かったですよ。でもね、今こうして、きれいな音を聞かしてくれてありがとね」って書いてあったの。1年生でもほんとに分かって下さる。子供達でもやっぱり、伝わるんだなあっていう。

ナレーション 16 :

ピアノはあの日の記憶を語りかけているのだ。

坂井原浩さんインタビュー：20160504／3050～

インタ A

ただ弾ける状態ってのはいつまで続くかわかりません。ただ明子さんとお母さんが弾かれてた、そのピアノを、その当時の音を伝えていくことが、やっぱりその当時起こったことを伝えていくことにも繋がるんだろうなと思うので、この状態を保ってあげたいな、と。

インタ B

まあなんとも数奇な運命をたどってるなと思うんですね。やっぱ、アメリカで生まれてその生まれた国のまあ爆弾によって傷ついたと。で、弾かれてた方がその爆弾によってなくなってしまったと。んー。まあ、まあでもその、そういったピアノの音を聞いていただくことによって、んー、70年前に起きたこと広島で起きたことを想像していただけるものになるんじゃないかなーと思うんですね。

ナレーション 17 :

(BGM：ショパン／ノクターン第2番変ホ長調 FO)

あなたもピアノの声に耳を傾けてほしい。

クレジットコール：

制作は、五日市高校放送部でした。

ラジオ尺：7分00秒

「ピアノが伝えてくれること」を制作して

広島県立五日市高等学校 3年 木村智子 柳日菜子

「ピアノが伝えてくれること」は「原爆の記憶の継承」というテーマに向き合った私が出した、一つの答えです。1年生の頃は被爆体験を聞くということは、悲惨な出来事を聞くことであると思っていました。そんな私に被爆者の方が話して下さったのは、私と同じ年頃の時に、苦しい中でも仲間と過ごした思い出の記憶でした。そして青春や日常を奪ったのが原爆だったことを教えてくれたのです。ある被爆者の方が「しっかり伝えてくださいね、あとお願いします」という言葉を遺し亡くなりました。私は被爆体験をどう伝えていけばいいのか…。そんな時に被爆ピアノに出会ったのです。



ピアノは71年前の夏、持ち主だった少女を原爆によって失い、60年間音を奏でることはありませんでした。私は少女の日記を読み、ご遺族、ピアノを修復した調律師の方を取材しました。取材の中でピアノを弾いた高校生が「ピアノは被爆した資料として残っているものではない。今も生きていて語りかけてくれている」と話してくれました。70年前にピアノを弾いていた人は私たちと同じように普通に生活していた人で、その人たちの夢や喜び、全てを原爆が消したことを伝えています。そして、音色を聞いた人には、原爆が奪ったものは何だったのかを考えるきっかけを与えているのです。

いずれ、原爆の記憶を直接話せる方はいなくなります。でも、被爆ピアノが残っている限り、ピアノの音に耳を傾け続けることはできます。継承は難しいことではありません。ピアノの音に耳を傾け、そこから少女に何が起こったのか、あの日広島に何が起こったのかを考えればいいのです。それが自分なりの継承の一步だと私は思います。みなさんの周りにも被爆ピアノのように過去の出来事を伝えてくれているものがあるはずです。作品を聞いて、みなさんが自分の周りにあるものの声に耳を傾けてくれたら嬉しいです。

「放送部の活動について」

～広島県立五日市高校放送部～



広島県立五日市高校放送部

荷宮 嗣磨

石井 七瀬 三谷 明由実 岩元 萌々香

「ノート、何とかしたいんです！」制作奨励

- ▶ 取材量が少ない
- ▶ カメラワークが雑,音はもっと雑
- ▶ 客観的裏付けが少ない
- ▶ 実験や検証が甘い
- ▶ ノートを綺麗に取ること結局何の意味があるの？
- ▶ 高校生らしい勢いがあるけど,綿密な検証などのある番組にはかなわない。

宮古高校「漁師を継ぐ」 入選

- ▶ 現地音が良く録音されている
- ▶ 現地音を使いすぎていて勿体ない
- ▶ (学校, 説明)
- ▶ テレビの方が良いと思われぬ工夫
- ▶ 木村さんのインタビューの核はどれ？
何で漁師になるの？お父さんへの思いは？
- ▶ 先生のインタビューは無理に良い人にしない
- ▶ 時間軸, 何を伝えるか？

宮古工業高校「仮設」準々決勝トップ落選

- ▶ 伝えなければいけない問題,現在をテーマにしている
 - ▶ 面白い作りです！
 - ▶ 人の声(インタビュー)を効果的に聴かせて欲しい
 - ▶ 仮設の人の声聴きたかった※
- ※みんなは聴き慣れていても審査員は知らない
- ▶ 仮設の問題を伝える際のテンポ
 - ▶ 全体のテンポが速い

「番組制作講座」

～ピアノが伝えてくれること～



広島県立五日市高校放送部顧問

荷宮 嗣麿

吉川 雅大 杉山 章子 竹下 みどり

1. 自己紹介

● 荷宮 嗣麿

大分県立杵築高校帰宅部出身

<職歴>

平成13年～平成22年まで 大分県の公立高校に講師として勤務
(日出暘谷, 大分豊府, 中津北, 大分西高校)

平成23年より広島県立五日市高校に教諭として勤務
その間, 一応放送部を指導

<主な趣味>

気に入った生徒のアナウンスや朗読,
番組を車で聴くこと。



自己紹介をしよう！

- 学校名，学年，名前，力を入れている放送部の活動，趣味を入れてください
- 顧問に精神的ダメージを受けた言葉や体験を入れてください
- つまり顧問にATフィールドを破られたこと
- 喋り難いかもかもしれませんが，一分必ず喋ってください

お疲れ様でした。
みなさん、後でもう一度、
顧問との絆を確かめ直してくださいね。



はい、それでは本題に入りましょう

放送とは？

あなたは、
なぜアナウンス・朗読・番組作り
をするの？



解答例

愛のため
家族のため
友だちのため
顧問のため
コンテストのため

放送とは？

Point.

誰に、どこで、何を、どんな手法で伝えるか？



- I. テーマを探す (企画作り)
- II. テーマを決める (企画決定)
- III. テーマを深める (取材)
- IV. テーマを伝える (構成)

放送とは？

Point. 誰に、どこで、何を、どうやって伝えるか？

1. 誰に？（視聴者は誰ですか？）

~~審査員の憎らしい先生たち~~

みんなのやってるのは校内放送！

生徒のみんな、友だちのみんな

大好きな優しい先生たち

（審査員の優しい先生たち）

放送とは？

Point. 誰に、どこで、何を、どうやって伝えるか？

みんなのやっているのは校内放送！

2. どこで？

(どんな場所や場面で放送するのですか？)

お昼休みの放送

文化祭の発表

人権平和学習

色々な講話(保健, 交通…)

体験入学

(放送コンテスト)

Point. 誰に、どこで、何を、どうやって伝えるか？

みんなのやってるのは校内放送！

3. 何を？

(どんな素材を、テーマを扱いますか？)

自分たちの身近なこと
に目を向けよう…

戦争と平和について

具体的な人や
物事を選ぼう…



問題)さて以下のテーマで、あなたは番組が作れますか？
作るとしたらどんな具体的な取材が必要でしょうか？

- ①なぜ、人を好きになるのか・・・？
- ②恋愛と部活動の両立はできるのか？
- ③(不)人気の自校の制服について
- ④あぐらをかく女子生徒たちについて
- ⑤戦争で亡くなった先輩について

テーマについて

- ① テーマを決める際は、自分たちが知りたい取材したいというモチベーションを喚起できるテーマであることが重要
- ② ストーリーを描けるかどうかについては、そのテーマで問題提示から挫折や立ち直りなどの着地点が、ドラマティックに描けるかが重要
- ③ なぜ今このテーマなのかについては、伝えるタイミングや、この時期だからこそ伝える価値があるかを考える

テーマについて

NHK 萩山ディレクター

「ドキュメンタリーは人間ドラマで
あり、その人に寄り添うことが大
切であり、そうするなかで高校生
自身が何かを見つけ感じて欲し
い。」

問題)さて以下のテーマで、あなたは番組が作れますか？
作るとしたらどんな具体的な取材が必要でしょうか？

全部できると思いますが、
具体的にどんな取材ができるか、
エピソードや感動が拾えるかが
重要！

●第52回NHK杯全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門

「先生、彼氏作って良いですか？」

放送部のリクエストボックスに、「部活顧問の先生から彼氏を作ってはいけないと言われた。部活生は彼氏を作ってはダメなの？」との投稿がありました。北高生の半数は、部活動に加入しています。調べてみるとその中には、現在進行形、破局と様々です。そこで放送部は、部活生の恋愛について、生徒、顧問、卒業生の考えを取材してみることにしました。「恋愛と部活は両立できるのか？」この疑問に答えるために番組を制作しました。

●第30回九州高校放送コンテスト 大分大会

テレビ番組部門「今と昔をつなぐ制服(ふく)」

私たちが着ている中津北高校の制服は、中津市内の制服の中で特にかわいらしいと評判です。生徒だけでなく、保護者や中学生にも人気があります。その理由の一つに制服の襟についているなでしこのマークがあげられました。そこで放送部は、なでしこのマークにはどんな意味があるのかを調べてみました。私たちが着ている制服には、どんな思いが込められているのかを知って欲しいと考えこの番組を制作しました。

Point. 誰に、どこで、何を、どうやって伝えるか？

みんなのやってるのは校内放送！

4. どうやって伝えるか？

(メディアは何を選択しますか？
どんな構成をしますか？)

テレビとラジオのどちらが伝わるか？

作り手のイメージを、より視聴者に具体化させるのに有効なのはどっち？



問題)報専坊のイチョウについては、
どのメディアを使うのが効果的でしょうか？

①ラジオドキュメント

②テレビドキュメント

③ラジオドラマ

④ テレビドラマ

⑤ オーディオピクチャー

⑥ ビデオメッセージ



人間の妄想する力は無限大よ！

ついでに、
忘却する力も無限大よ！



Point. 誰に、どこで、何を、どうやって伝えるか？

みんなのやってるのは校内放送！

5. 企画の決定について

- ①「自分たちの知らないことが得られるか」
- ②「学校の中から社会を見よう」

6. 企画書を作ろう

- ①テーマ(扱う素材) ②テーマの選定理由
- ③参加部門 ④タイトル
- ⑤伝えたいこと(知りたいこと)
- ⑥調べること ⑦取材対象



Point. 誰に、どこで、何を、どうやって伝えるか？

みんなのやってるのは校内放送！

7. 取材について

① 質問事項を丁寧に作ろう

※「臨機応変な判断」と

「準備なきアドリブ勝負」は違います！

② その場の空気感を感じて 取材しよう



Point. 誰に、どこで、何を、どうやって伝えるか？

みんなのやってるのは校内放送！

8. 構成について

①視聴者にわかりやすく作る

テレビ → 画が言葉を語る

ラジオ → 音で聴き手の頭に、シーンを想像させる

②視聴者を楽しませる工夫をしよう

サービス！サービス！

(BGM、台詞、キャラなど)



構成について

N59ラジオドキュメント準決勝講評 稲垣直紀CP

①「〇〇の話題を通して××を
〔見る・考える〕が基本

②一つの番組に情報を詰め込み
すぎない

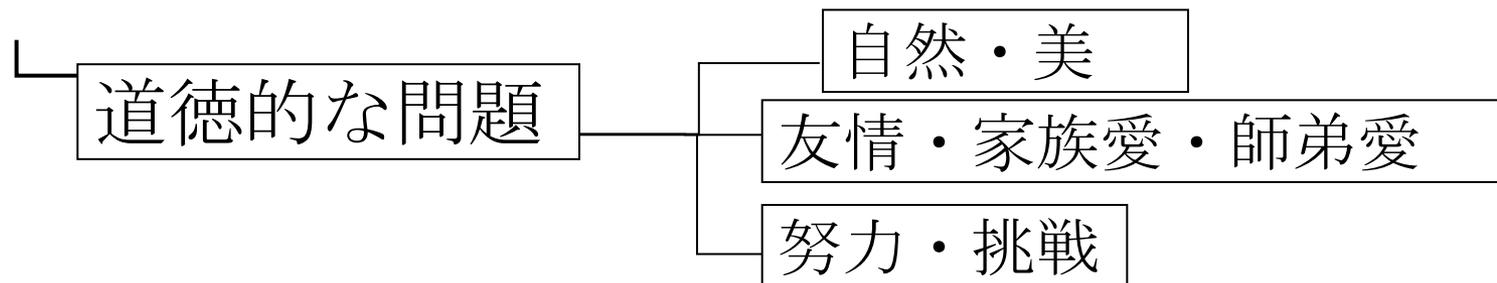
③全ての情報は一つの視点から

構成について

N59ラジオドキュメント準決勝講評 稲垣直紀CP

①「〇〇の話題を通して××を〔見る・考える〕が基本

「××」 — 社会的問題・現象など



「〇〇」 . . . テーマ

- ※ 順番は「〇〇」を決めてから「××」を探すことのほうが多い。番組の「ねらい」を考える際にあてはめる。
- 「〇〇」と「××」の間に差があると面白い番組になる。つまり「〇〇」に対して、まさかの××ということ。

②一つの番組に情報を詰め込みすぎない

③全ての情報は一つの視点から

構成について

N59ラジオドキュメント準決勝講評 稲垣直紀CP

①「〇〇の話題を通して××を〔見る・考える〕が基本

②一つの番組に情報を詰め込みすぎない

七分間の番組なら、何かを言っているのは五分半くらいであり、言葉はあまりいらぬ。

A 何かいいことを言う → B 間 or 音楽

ここでAの意味を視聴者に考えさせる
そのために間をしっかりと取り、音楽を考えて使う

音楽については、BGMや効果音など喋り以外の音を有効的に使う。
重要な部分にピンポイントで入れる。→ 雰囲気とか自分の勘で！

②一つの番組に情報を詰め込みすぎない

七分間の番組なら、何かを言っているのは五分半くらいであり、言葉はあまりいらない。

A 何かいいことを言う



B 間 or 音楽

ここでAの意味を視聴者に考えさせる

そのために間をしっかりと取り、音楽を考えて使う

音楽については、BGMや効果音など喋り以外の音を有効的に使う。
重要な部分にピンポイントで入れる。→ 雰囲気とか自分の勘で!

③全ての情報は一つの視点から

主役を不動にする。

- 誰が、何が主役なのかわからないと、伝わらない。
- 視点を移動させない。

**最初に提示した問題に、
自分なりの導き出した解答を出す**

その他作品作りのコツ

1. 制作意図をきちんと書くべし
2. タイトルは命なり
3. ロングインタビューは…





ピアノが伝えてくれること

広島県立五日市高校放送部

覚悟しなければならないこと

- 人の死に向き合わなければならない
- 「広島だから原爆か，また原爆か」という意見と向き合わなければならない

戦争と平和, 重いテーマについて

- ◆ 半端な取材では, 基本的には作らない・作らせない
- ◆ 「救い」がある番組を作る

テーマのポイント

1. いずれは明らかにになるものを、他より早く伝えるもの
2. 伝えなければ、世に出ない可能性が高いものを伝える

構成をする中でのポイント

1. 物語中の時間
2. インタビューの抽出
3. 結論を導くためへの伏線
4. 臨場感を保つ

構成のキーについて

- ◆ 友達, 親子, 恋愛など自分たち
や視聴者との接点を作る
- ◆ 過去・現在・未来のバランス

制作のポイント

1. 資料を集めてまとめる
2. 取材結果をまとめる
3. わかったこととわからないことを整理する
4. 100取材して10を使う。10しかわからなければ1しか使えない
5. 時間管理と、できることできないことの見極めをする(顧問)

放送活動全体を通して、
社会と自分たちの結びつきを考えてください

色々な人たちの話を訊いてください
(コミュニケーション能力の育成)

忘れられない時間を過ごして、
これからの人生の糧にして、
若さを保つ糧にしましょう！

ご清聴ありがとうございました。(竹下天使)

私みたいにダークサイドに堕ちないでください。(悪魔荷宮)